

# 静岡県月例経済報告

(平成31年2月号)

……平成30年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 514

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	12
・ 雇用面 .....	14
・ その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

平成30年12月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需要面

### 「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(12月)は、百貨店が4か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(12月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月ぶり、コンビニエンスストアが2か月連続、ドラッグストアが22か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも7か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、乗用車が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、軽自動車が3か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも3か月連続で前年実績を上回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(12月)は、持家が4か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家が2か月ぶり、分譲住宅が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも4か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(12月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

### 「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年12月14日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は、3か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、持ち直しの動きがみられる」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（12月）は、自動車の部分品が3か月連続、二輪自動車類が11か月連続、科学光学機器が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が7か月連続、エアコン、自動車がいずれも3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（12月）は、木材が2か月連続、パルプ、原動機がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、紙類及び同製品がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,103億円の輸出超過となった。

## 生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（11月）は、はん用・生産用・業務用機械が13か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が5か月連続、輸送機械、食料品・たばこが3か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。また、6か月ぶりに低下した。

なお、鉱工業在庫指数（11月）は、総合では14か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（12月）は1.65倍で、前月を0.01ポイント上回った。また、59か月連続で1倍を上回った。なお、22か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（12月）は、65か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（11月）は、12か月連続で前年実績を下回った。

## その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（12月）は、前年同月比 1.9%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（12月）は、前年同月比 16.3%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（1月）は、件数は15件（前年同月比 16.6%減）、負債総額は12億3,500万円（同 47.8%減）と、いずれも前年実績を下回った。

## <トピックス>

### 中国上海における「静岡県産化粧品展」の開催

日本トップクラスの生産金額を誇る静岡県産化粧品の更なる生産拡大、輸出拡大を目指して、Made in Japan人気が高く、日本最大の輸出先である中国上海市で「静岡県産化粧品展」を開催しました。会場の様子は、当日ライブ配信され23万人以上が視聴したほか、現在までに687万回再生されるなど、中国市場における本県産の化粧品に対する関心の高さがうかがえます。今後も、産学官が連携して、化粧品産業の振興に取り組んでいきます。

#### <開催概要>

- 日時 平成31年1月14日(月)～19日(土) 午前10時00分～午後10時00分
- 会場 上海新世界大丸百貨(中国上海市)
- 来場者数 計13,600人(6日間)
- 出展企業(6社)及び出展内容

#### 株式会社資生堂

製品展示(茶香水、日本限定販売品等)、口紅の色作り体験、日焼止めの効果体験

#### 株式会社ポーラ

中国で人気の基礎化粧品シリーズ

#### 株式会社コーヨー化成

ウエットティッシュ、工技研と共同開発したローズ水化粧品

#### サンスター株式会社

オーラルケア製品、静岡がんセンターとの共同開発製品

#### 株式会社バスクリン

日本でも人気の入浴剤シリーズ

#### エルソルプロダクツ株式会社

日本で人気のマスカラ



掛川茶の香りの香水「茶香水」



13,600人来場(6日間)

#### <本県の化粧品関連産業への支援策>

- **2019年度、化粧品開発の新たな助成制度を創設**  
補助率1/2、上限額5,000千円/1年(2年上限7,500千円)
- **香り素材嗜好調査を活かした化粧品素材の開発**  
橘(たちバナ)、橙(ダイダイ)、バラなど、本県特産の農林水産物による化粧品素材を工業技術研究所で開発。データベース化して企業に提供。
- **機能性、安全性を県立大学と連携して検証**  
県産素材の安全性の確認、機能性の探索や評価、物性確認など、化粧品開発に必要なエビデンスを構築。

⇒ **化粧品開発を加速化し、製造品出荷額の増加につなげます**

## Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

12月 = 43,100百万円

\*前年同月比： 0.6%増

(県内3百貨店、135スーパー合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は43,100百万円で、前年同月比 0.6%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.8%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 1.6%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 2.1%減）が6か月連続、家庭用品（同 4.8%減）が15か月連続で前年実績を下回ったものの、身の回り品（同 6.4%増）が6か月ぶり、飲食料品（同 1.5%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.3%増と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	32,970	33,375	35,213	33,855	32,358	33,408	33,659	43,100
前年同月比(%)	▲ 3.6	▲ 0.1	▲ 1.1	0.0	3.0	▲ 0.8	▲ 2.1	0.6
うち 百貨店(%)	▲ 6.0	2.1	▲ 7.5	1.9	▲ 0.2	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 2.8
スーパー(%)	▲ 3.0	▲ 0.6	0.6	▲ 0.4	3.8	▲ 0.6	▲ 2.3	1.6
(参考1)全国前年同月比(%)	▲ 2.0	1.5	▲ 1.6	▲ 0.1	0.4	▲ 0.8	▲ 2.2	▲ 1.0
うち 百貨店(%)	▲ 1.2	4.0	▲ 5.1	0.6	▲ 2.6	1.1	▲ 1.1	▲ 1.3
スーパー(%)	▲ 2.4	0.3	0.3	▲ 0.4	1.7	▲ 1.8	▲ 2.7	▲ 0.8
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲ 3.1	0.3	▲ 1.9	▲ 0.4	2.7	▲ 0.6	▲ 1.2	1.3

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲ 6.3	0.4	▲ 7.8	▲ 1.5	▲ 0.7	▲ 7.0	▲ 5.8	▲ 2.1
うち紳士服・洋品	▲ 10.3	▲ 2.3	▲ 6.0	▲ 3.2	▲ 1.0	▲ 7.5	▲ 7.0	▲ 1.6
婦人・子供服・洋品	▲ 4.7	2.3	▲ 8.1	▲ 1.8	▲ 1.0	▲ 5.6	▲ 4.4	▲ 1.8
身の回り品	▲ 2.6	1.4	▲ 6.9	▲ 0.2	▲ 3.2	▲ 5.6	▲ 1.9	6.4
飲食料品	▲ 2.9	0.0	1.0	0.7	4.8	1.2	▲ 0.6	1.5
家庭用品	▲ 1.7	▲ 6.1	▲ 8.5	▲ 6.6	▲ 1.5	▲ 0.6	▲ 9.0	▲ 4.8
うち家庭用電気機械器具	9.0	17.5	6.7	▲ 1.4	10.8	8.4	▲ 6.7	0.7

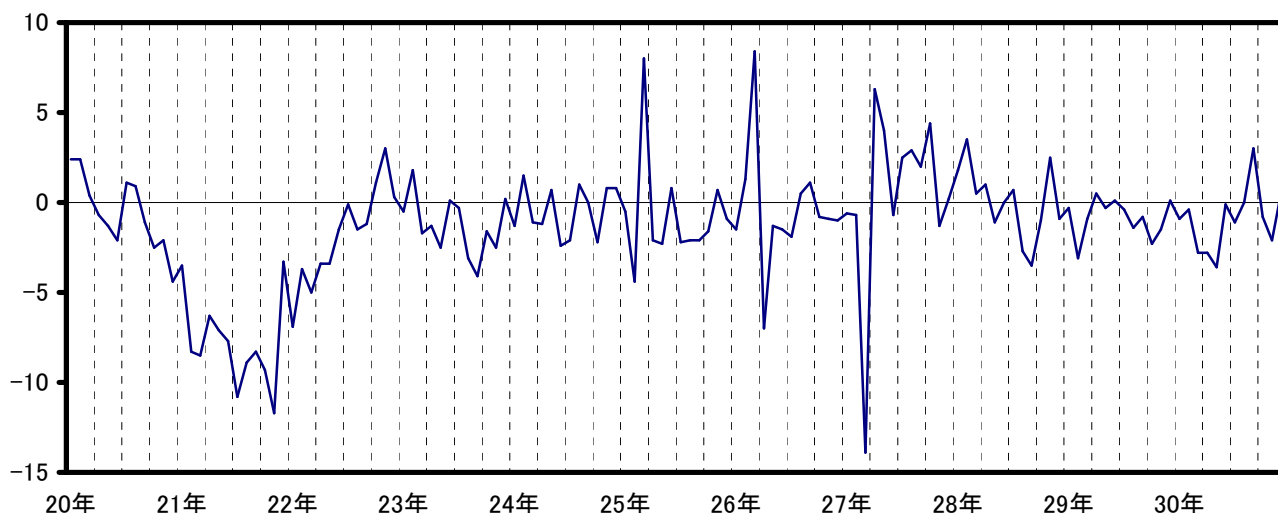
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

12月 = 78,282百万円

\*前年同月比： 2.7%増

(県内97家電大型専門店、1,696コンビニエンスストア、487ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

12月の専門量販店等販売額は78,282百万円で、前年同月比 2.7%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 3.5%増）、ホームセンター（同 0.1%増）がいずれも2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 2.1%増）が2か月連続、ドラッグストア（同 4.4%増）が22か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	67,364	66,876	76,985	72,295	66,929	67,157	65,461	78,282
前年同月比(%)	▲0.8	3.1	2.7	1.9	5.1	4.3	1.3	2.7
うち 家電大型専門店(%)	▲0.6	9.8	4.1	2.7	10.8	1.7	▲2.4	3.5
コンビニエンスストア(%)	▲1.2	0.9	0.6	1.0	3.6	▲0.1	0.8	2.1
ドラッグストア(%)	3.1	4.9	6.9	4.3	6.4	7.4	4.9	4.4
ホームセンター(%)	▲7.6	0.1	▲1.0	▲1.0	1.4	15.5	▲1.4	0.1
(参考)全国前年同月比(%)	0.3	3.9	1.7	1.8	4.9	2.3	1.5	3.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

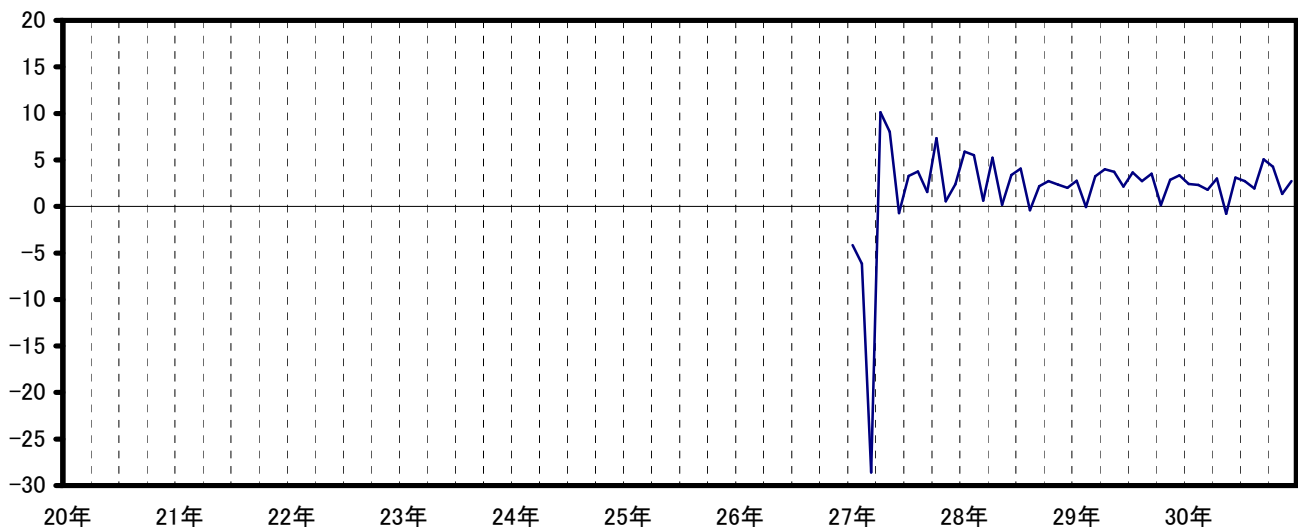
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

12月 = 13,208 台

\*前年同月比： 1.2%増

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は13,208台(前年同月比 1.2%増)と、3か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 2.4%減)が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、軽自動車(同 6.0%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	12,332	15,629	14,618	12,013	16,766	14,092	14,723	13,208
前年同月比(%)	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.5	▲ 5.3	3.3	4.0	▲ 3.3	11.6	7.4	▲ 3.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

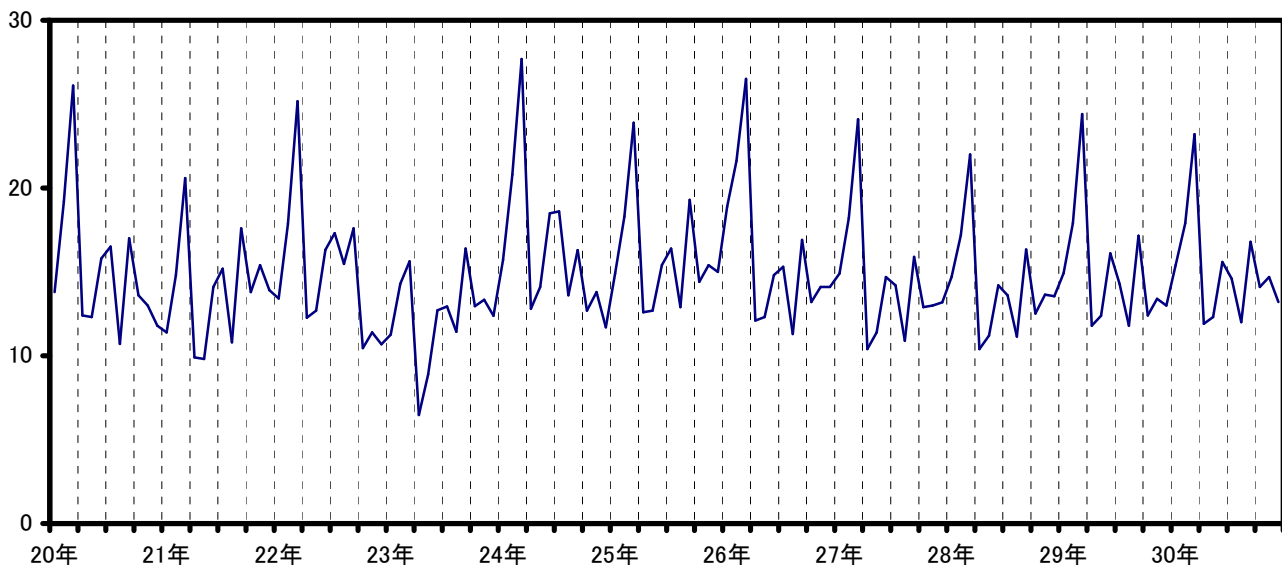
	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2
乗用車	▲ 1.4	▲ 9.0	▲ 0.4	▲ 3.0	▲ 3.1	15.7	9.8	▲ 2.4
軽自動車	0.8	6.2	6.0	8.7	▲ 1.2	11.6	9.3	6.0

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,821 戸

\*前年同月比： 10.4%減

### <概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,821戸で、前年同月比 10.4%減と、4か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 2.7%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 25.3%減）が2か月ぶり、分譲住宅（同 15.6%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

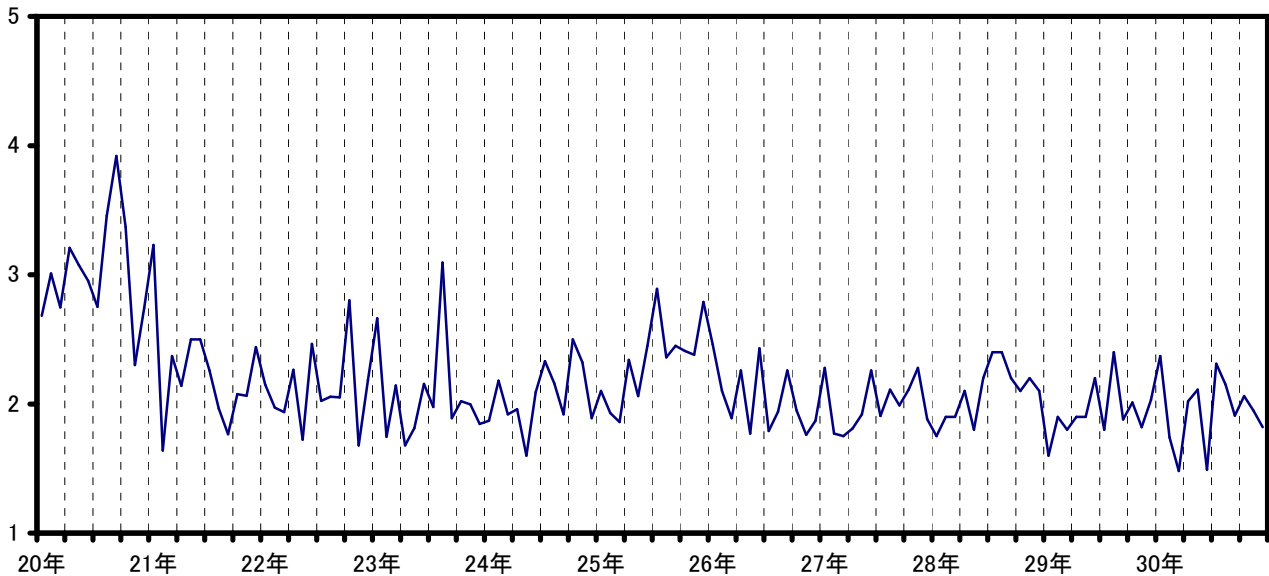
	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数（戸）	2,108	1,489	2,309	2,152	1,908	2,059	1,950	1,821
前年同月比（%）	8.8	▲ 32.6	25.6	▲ 9.8	1.6	2.3	7.1	▲ 10.4
うち持家（%）	4.5	▲ 25.4	4.1	▲ 1.9	4.7	8.3	3.7	2.7
貸家（%）	9.0	▲ 46.7	70.1	▲ 26.8	▲ 10.2	▲ 7.5	19.2	▲ 25.3
分譲住宅（%）	21.8	▲ 23.2	30.9	7.2	36.4	5.8	▲ 2.0	▲ 15.6
(参考)全国前年同月比（%）	1.3	▲ 7.1	▲ 0.7	1.6	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6	2.1

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

12月 = 22,329百万円

\*前年同月比：70.9%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

12月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は22,329百万円で、前年同月比70.9%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は719件で、前年同月比3.6%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額(百万円)	30,683	30,461	29,729	28,357	41,187	23,847	14,829	22,329
前年同月比(%)	53.1	▲6.8	9.9	16.8	▲9.9	12.5	6.2	70.9
年度累計前年同月比(%)	22.6	13.7	12.9	13.5	8.3	8.7	8.6	11.8
件数(件)	564	707	872	857	1,185	738	690	719
前年同月比(%)	20.8	▲1.9	17.0	8.2	▲13.6	1.2	3.4	3.6
年度累計前年同月比(%)	19.5	10.3	12.4	11.4	3.9	3.6	3.5	3.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

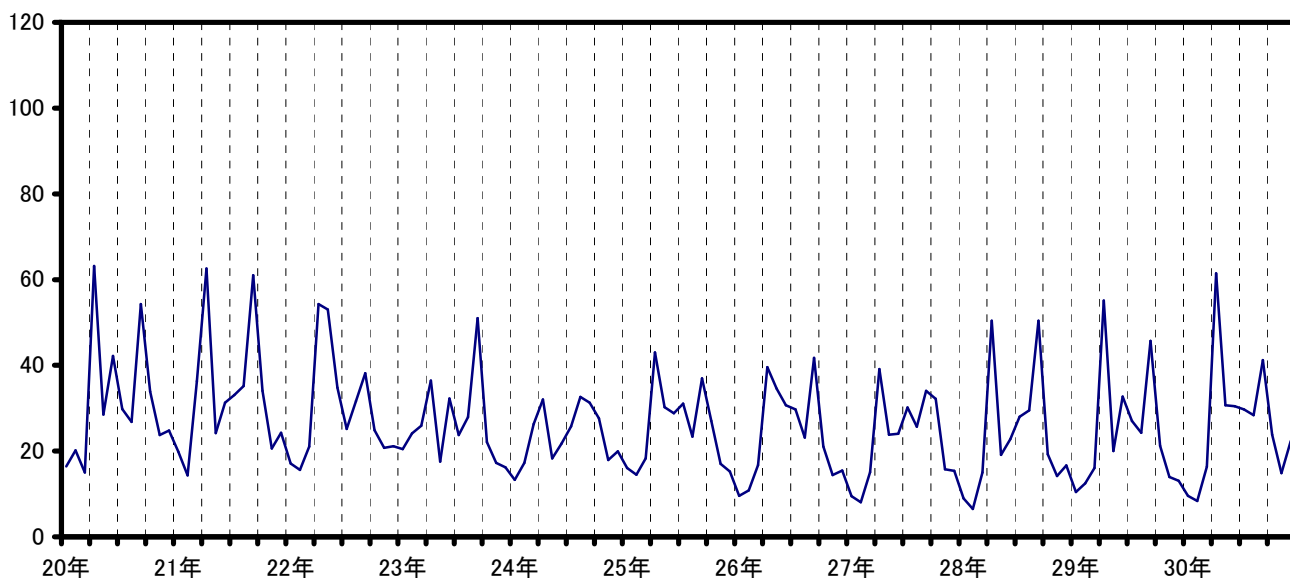
	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	122.3	113.4	129.5	▲0.8	▲54.8	▲25.9	▲29.2	8,054.0
独立行政法人等	61.9	▲65.3	488.7	▲35.1	238.5	424.5	164.3	▲4.1
県	8.7	4.3	45.6	20.6	▲12.0	2.4	▲12.1	18.4
市町	13.6	▲17.3	0.2	21.1	▲16.2	14.6	▲0.8	98.3
地方公社	1,292.4	—	▲95.2	▲91.5	▲32.1	290.5	467.9	912.0
その他	—	2.8	▲76.8	106.3	▲59.7	▲58.2	440.5	511.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 9.6%増）、非製造業（同 7.2%増）、全産業（同 8.5%増）の全てにおいて増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 11.7%増）、非製造業（同 8.1%増）、全産業（同 10.8%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は212,110㎡で、前年同月比 94.6%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	2.8	(▲3.3) 8.5
	全国	4.4	(1.7) 10.4
製造業	県	3.2	(▲3.5) 9.6
	全国	6.3	(▲0.9) 15.4
非製造業	県	2.3	(▲3.0) 7.2
	全国	3.4	(3.3) 7.5

（ ）内は前回調査比修正率

### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	5.3	(▲2.2) 10.8
	全国	4.6	(0.3) 9.6
製造業	県	6.8	(▲2.2) 11.7
	全国	4.4	(▲0.6) 10.3
非製造業	県	1.4	(▲2.2) 8.1
	全国	4.8	(1.3) 8.8

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年12月調査)」

### <最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	179,797	136,094	284,663	153,769	236,654	115,833	87,374	212,110
前年同月比（%）	24.0	▲ 22.8	142.5	17.2	187.3	▲ 1.5	▲ 9.6	94.6
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 6.8	▲ 5.0	8.8	▲ 10.9	▲ 7.3	▲ 3.2	▲ 7.0	15.3

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	30年9月	30年12月	31年3月 (予測)
全 産 業	14	14	10
製 造 業	20	14	9
非 製 造 業	9	14	11
(参考) 全国・全産業	15	16	10

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年12月調査)」

## 5 輸出

12月 = 211,135百万円

\*前年同月比： 6.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は211,135百万円で、前年同月比 6.0%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 4.9%減）が3か月連続、二輪自動車類（同 0.5%減）が11か月連続、科学光学機器（同 30.7%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 15.9%増）が7か月連続、エアコン（同 16.6%増）、自動車（同 10.0%増）がいずれも3か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 2.8%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 2.4%増）が5か月連続、EU向け（同 17.6%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	158,117	193,158	182,834	174,267	192,397	186,630	180,100	211,135
前年同月比(%)	5.6	10.4	▲1.1	1.7	9.3	0.6	0.7	6.0

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	▲5.9	6.0	1.0	11.8	29.1	38.9	21.1	15.9
エアコン	▲3.6	32.1	12.6	10.4	2.2	▲20.4	▲8.1	16.6
自動車	192.2	8.0	▲19.3	▲23.3	33.3	▲25.8	▲11.6	10.0
自動車の部分品	0.5	11.6	7.7	0.0	12.1	▲2.8	▲9.6	▲4.9
二輪自動車類	▲37.3	▲12.6	▲20.4	▲27.8	▲19.2	▲17.9	▲7.8	▲0.5
科学光学機器	43.5	10.8	▲4.2	▲18.9	▲14.8	▲5.4	▲10.8	▲30.7

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	5.1	18.5	7.6	2.8	9.1	2.8	▲0.3	▲2.8
米国	▲7.5	9.2	▲8.2	14.7	2.5	18.7	11.0	2.4
EU	17.4	▲16.0	▲13.8	▲15.8	25.0	▲20.0	▲7.4	17.6

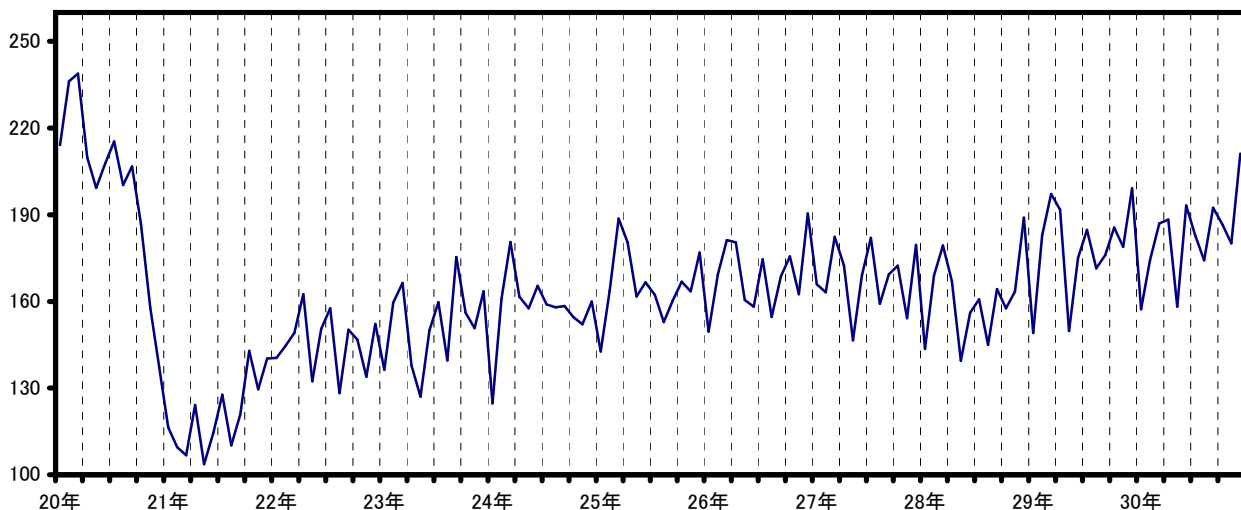
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

12月 = 100,853百万円

\*前年同月比： 13.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は100,853百万円で、前年同月比 13.1%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 12.0%減）が2か月連続、パルプ（同 27.5%減）、原動機（同 1.2%減）がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 4.3%増）、紙類及び同製品（同 8.8%増）がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品（同 61.6%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 2.8%減）が2か月ぶり、EUから（同 7.4%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジアから（同 9.3%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	97,600	87,832	96,108	89,368	84,671	105,003	97,049	100,853
前年同月比(%)	21.5	4.9	17.0	4.6	1.2	43.2	8.3	13.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類及び同調製品	30.9	2.9	▲ 5.8	▲ 8.4	▲ 15.5	35.3	▲ 21.6	4.3
木材	13.5	▲ 1.7	23.4	▲ 6.0	▲ 21.5	2.3	▲ 26.4	▲ 12.0
パルプ	18.4	8.3	47.4	6.5	▲ 24.0	81.0	13.8	▲ 27.5
紙類及び同製品	44.8	35.3	▲ 5.4	▲ 19.3	9.4	5.2	▲ 18.6	8.8
原動機	109.2	8.7	3.5	51.7	▲ 21.0	40.0	53.9	▲ 1.2
自動車の部分品	7.9	24.6	48.9	13.9	33.2	30.7	44.4	61.6

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

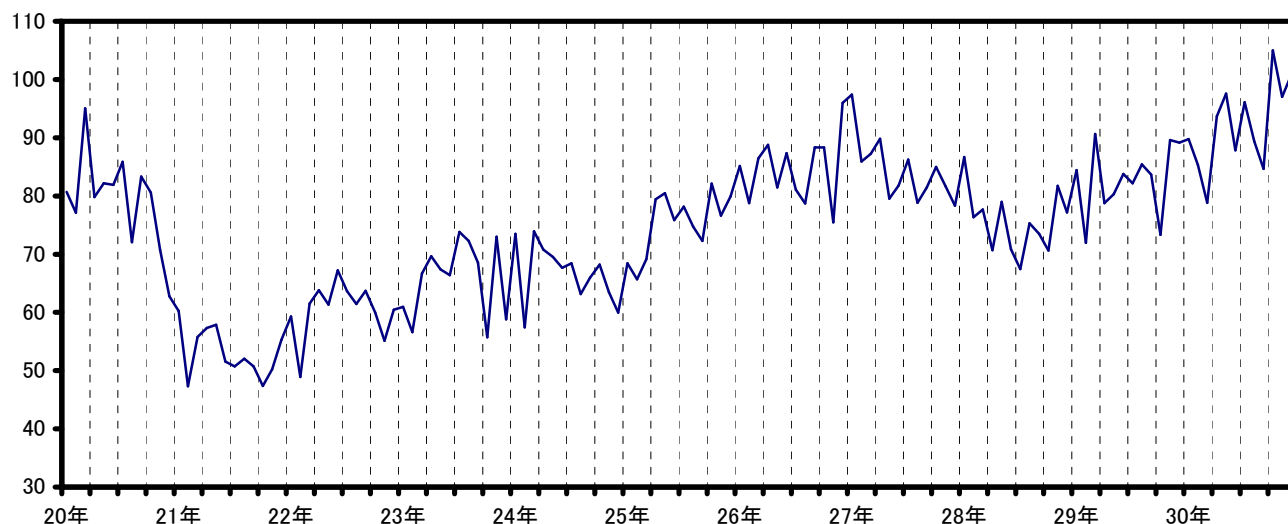
	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	27.6	1.9	19.9	8.7	▲ 5.7	35.1	25.7	9.3
米国	12.3	▲ 6.7	8.4	21.8	▲ 19.9	▲ 13.8	2.4	▲ 2.8
EU	10.1	▲ 1.5	3.9	14.2	2.0	55.9	▲ 5.2	▲ 7.4

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

11月 = 95.4

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.6%減

\*前年同月比(原指数) : 3.0%増

#### <概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は95.4(季節調整済指数)で、前月比1.6%減と、6か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は3.0%増と、2か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比5.6%減)が13か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同5.6%増)が5か月連続、輸送機械(同3.5%増)、食料品・たばこ(同5.5%増)が3か月連続、化学(同7.9%増)、パルプ・紙・紙加工品(同2.2%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	92.8	91.8	92.9	93.1	94.4	96.0	97.0	95.4
前月比(%)	0.8	▲1.1	1.2	0.2	1.4	1.7	1.0	▲1.6
前年同月比(%)	▲0.2	0.0	▲1.9	2.4	1.1	0.0	3.5	3.0
(参考)全国前年同月比(%)	2.5	4.2	▲1.2	2.3	0.6	▲2.9	4.2	1.4

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲2.4	▲13.2	▲11.0	▲11.0	▲4.2	▲1.1	▲12.9	▲5.6
電気機械工業	1.1	▲3.1	▲7.8	5.0	6.2	6.8	18.3	5.6
輸送機械工業	▲4.6	0.8	3.2	6.8	▲2.8	0.4	2.1	3.5
化学工業	▲1.9	9.1	▲2.3	4.6	9.0	▲2.9	6.6	7.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.9	0.5	▲1.3	1.3	0.1	▲0.1	0.1	2.2
食料品・たばこ工業	10.5	▲4.2	▲0.4	▲2.7	▲3.3	1.6	6.8	5.5

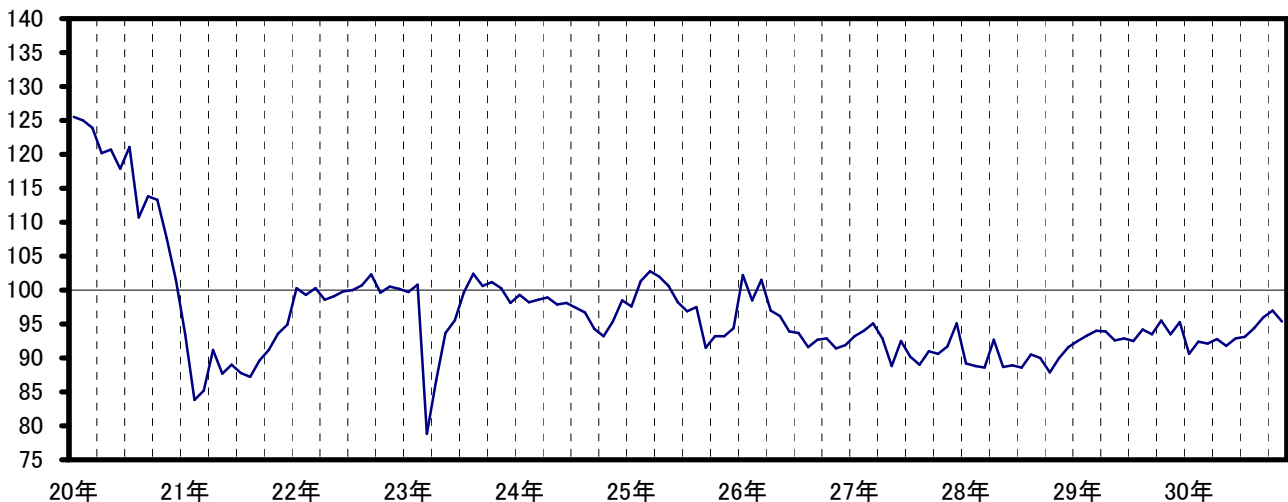
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

11月 = 121.3

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.6%減

\*前年同月比(原指数) : 4.5%増

### <概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は121.3(季節調整済指数)で、前月比は2.6%減と、2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は4.5%増と、14か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.2%減)が11か月ぶり、輸送機械(同8.9%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同8.1%減)が17か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同2.3%増)、食料品・たばこ(同4.5%増)がいずれも2か月連続、化学(同29.7%増)が18か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	123.8	126.1	123.7	122.7	124.9	128.7	124.6	121.3
前月比(%)	▲1.2	1.9	▲1.9	▲0.8	1.8	3.0	▲3.2	▲2.6
前年同月比(%)	7.1	10.2	6.1	7.5	9.6	13.8	6.4	4.5
(参考)全国前年同月比(%)	1.9	2.5	2.5	2.8	2.9	5.5	▲0.8	0.7

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	8.3	7.1	0.8	8.9	10.2	6.9	9.1	▲7.2
電気機械工業	4.9	▲1.4	▲14.0	▲10.7	▲12.8	▲2.9	1.7	2.3
輸送機械工業	▲13.7	▲11.6	▲26.8	▲18.4	▲12.7	9.1	▲10.5	▲8.9
化学工業	48.0	60.5	49.3	41.7	44.9	50.8	34.3	29.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲9.2	▲9.9	▲8.5	▲6.9	▲4.8	▲1.3	▲8.7	▲8.1
食料品・たばこ工業	3.0	0.4	▲7.5	▲5.8	▲1.0	▲3.0	1.1	4.5

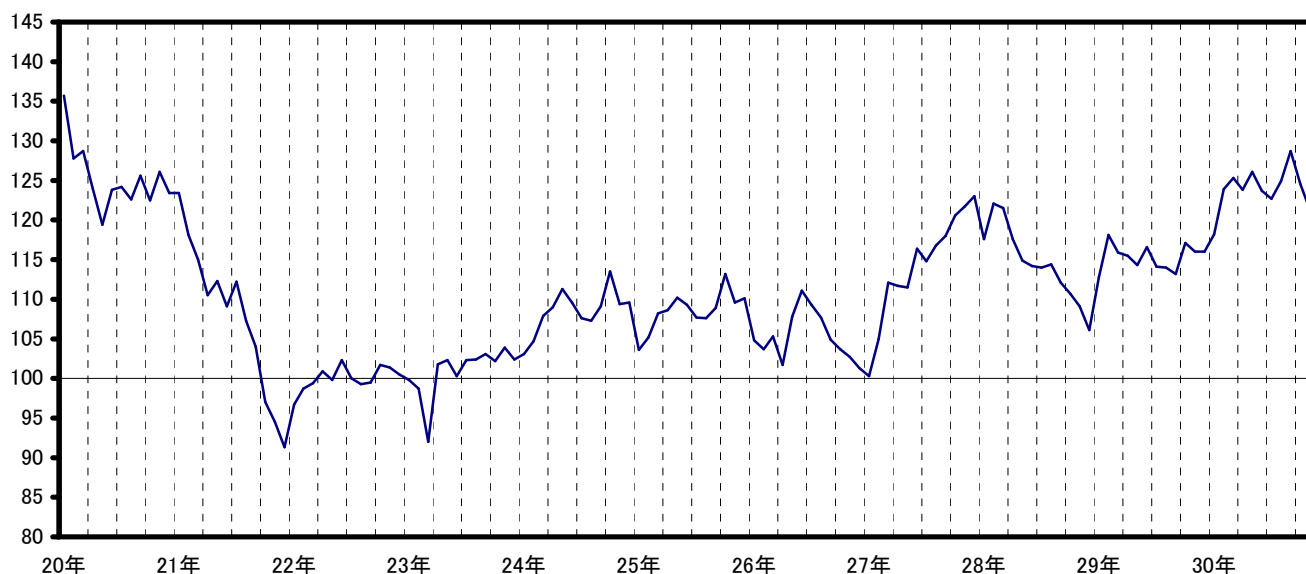
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

12月 = 1.65倍

\*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概況>

12月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.65倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、22か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 6.9%減）は4か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 12.1%減）が5か月連続、製造業（同 9.8%減）、運輸業・郵便業（同 8.8%減）がいずれも3か月ぶり、情報通信業（同 8.7%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同 26.1%減）がいずれも4か月連続、医療・福祉（同 0.6%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、卸売業・小売業（同 19.3%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.70	1.72	1.73	1.70	1.70	1.64	1.64	1.65
全 国	1.60	1.62	1.63	1.63	1.64	1.62	1.63	1.63

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	4.5	3.9	6.6	▲ 1.7	▲ 10.4	▲ 8.5	▲ 1.2	▲ 12.1
製造業	26.2	0.3	11.8	17.1	▲ 4.8	16.7	10.5	▲ 9.8
情報通信業	▲ 16.5	24.4	▲ 1.5	2.9	▲ 11.4	▲ 31.1	▲ 3.7	▲ 8.7
運輸業・郵便業	16.1	22.9	16.2	10.7	▲ 3.5	6.5	17.1	▲ 8.8
卸売業・小売業	5.9	1.2	▲ 7.5	0.9	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 14.1	19.3
医療・福祉	4.0	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 4.2	▲ 2.9	▲ 10.1	▲ 4.4	▲ 0.6
サービス業（他に分類されないもの）	28.4	1.4	21.4	5.1	▲ 18.1	▲ 4.5	▲ 1.4	▲ 26.1
合 計	14.2	3.9	6.6	4.6	▲ 9.1	▲ 1.3	▲ 0.2	▲ 6.9

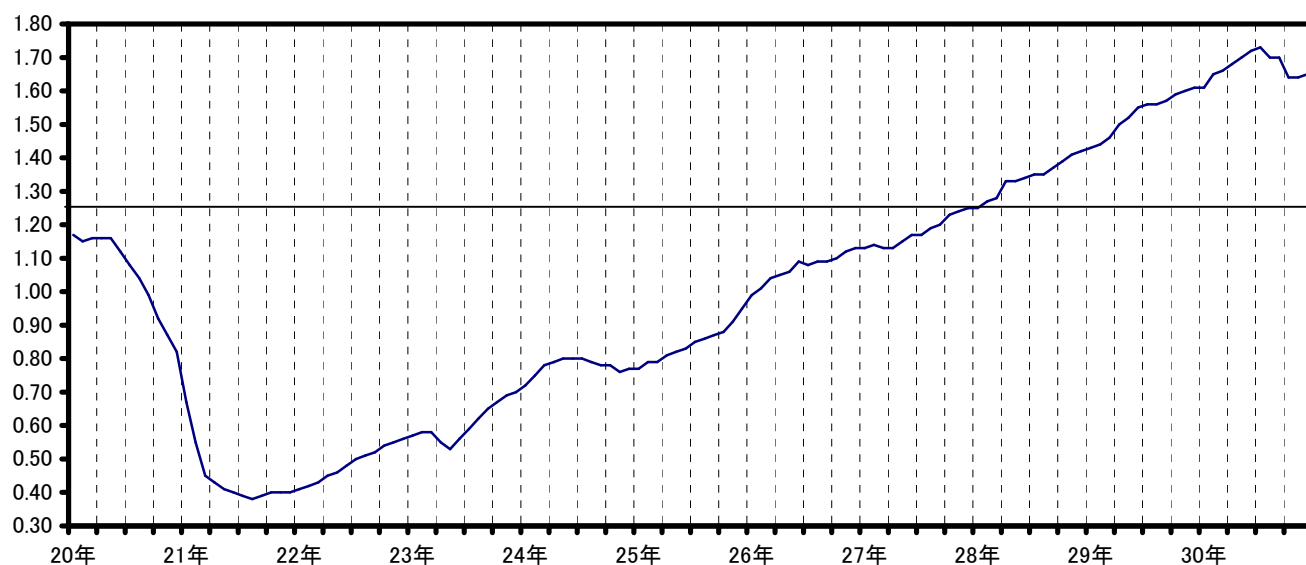
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省





(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 9,577人

\*前月比: 6.1%減

\*前年同月比: 6.8%減

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は9,577人で、前月比は6.1%減と、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は6.8%減と65か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は2.4%で、前月から0.1ポイント改善した。  
 静岡県(平成30年7~9月)の完全失業率は2.0%で、前期(30年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	10,839	10,513	10,974	11,407	10,605	10,885	10,196	9,577
前月比(%)	17.4	▲3.0	4.4	3.9	▲7.0	2.6	▲6.3	▲6.1
前年同月比(%)	▲0.5	▲4.6	▲1.1	▲3.7	▲5.6	▲2.0	▲6.0	▲6.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲5.2	▲0.3	▲2.3	▲1.6	0.8	▲1.0	▲0.7

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	2.2	2.4	2.5	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4

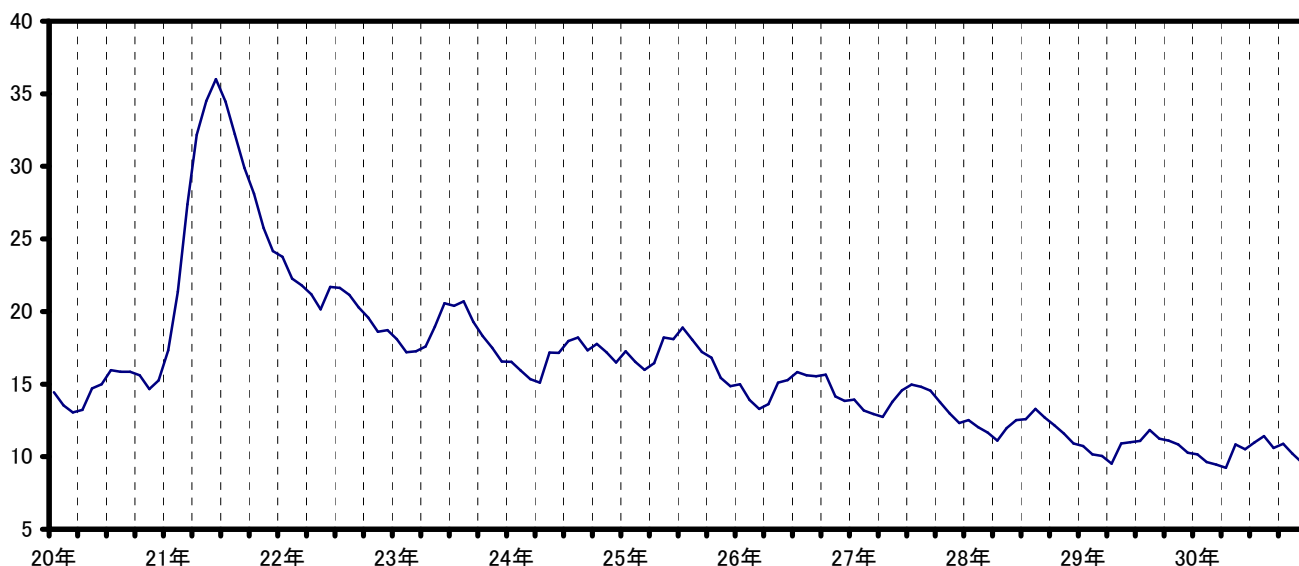
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

11月 = 97.3

\*前月比(季節調整済指数): 0.9%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 7.7%減

#### <概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は97.3(季節調整済指数)で、前月比0.9%増となった。また、前年同月比(原指数)は7.7%減と12か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比88.8%増)が13か月連続、運輸業・郵便業(同1.5%増)が9か月ぶり、卸売業・小売業(同21.0%増)が2か月ぶり、医療・福祉(同2.8%増)が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同52.6%減)が6か月連続、製造業(同3.3%減)が2か月ぶり、その他のサービス業(同2.4%減)が11か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	92.0	97.1	93.9	97.8	98.0	91.1	96.4	97.3
前月比(%)	0.4	5.5	▲3.3	4.2	0.2	▲7.0	5.8	0.9
前年同月比(%)	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.5	0.8	0.8	0.0	▲1.6	▲2.4	0.8	▲0.7

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	▲17.2	284.8	▲44.5	▲33.8	▲53.1	▲62.4	▲44.6	▲52.6
製造業	▲6.0	▲7.9	▲0.5	3.2	▲1.7	▲7.0	1.6	▲3.3
情報通信業	27.9	83.7	86.6	75.2	105.0	85.7	105.8	88.8
運輸業・郵便業	▲7.1	▲10.7	▲10.1	▲11.0	▲7.7	▲10.1	▲10.5	1.5
卸売業・小売業	26.8	▲7.1	▲10.9	9.2	4.4	6.4	▲2.6	21.0
医療・福祉	▲8.0	▲26.2	1.6	▲15.9	▲1.4	▲20.4	▲16.1	2.8
その他のサービス業	43.4	15.1	20.0	8.0	10.1	6.8	7.4	▲2.4
調査産業計	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7

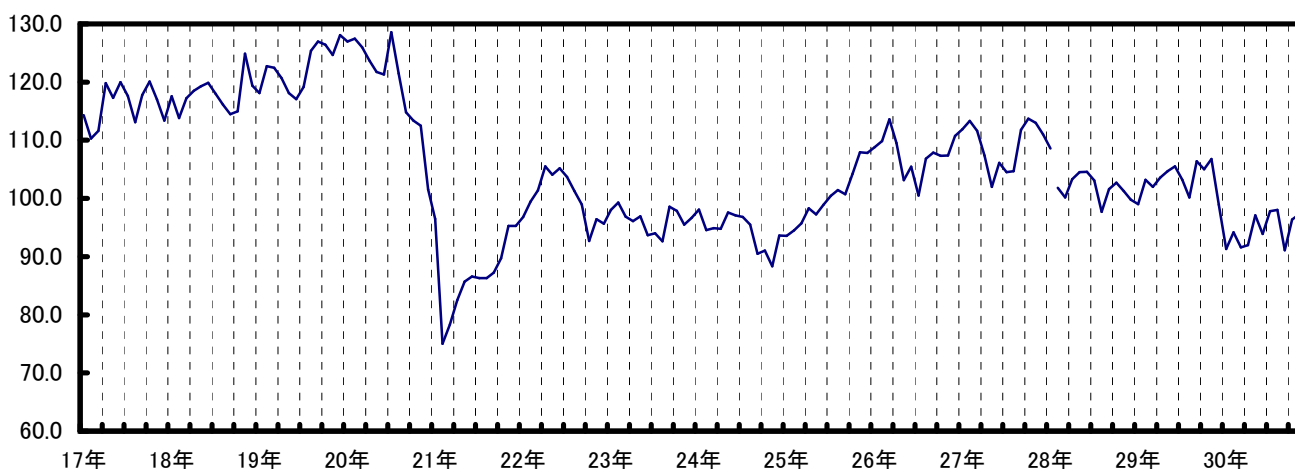
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

1 月 = 100.9

(平成27年=100)

\*前 月 比: 0.6%下落

\*前年同月比: 0.6%上昇

#### <概 況>

1月の国内企業物価指数は100.9となり、前月比は0.6%の下落となった。また、前年同月比は0.6%の上昇となった。

#### <最近の動き>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
国内企業物価指数	101.3	101.7	101.7	102.0	102.4	102.1	101.5	100.9
前 月 比 (%)	0.3	0.4	0.0	0.3	0.4	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6
前年同月比 (%)	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.3	1.5	0.6

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

12月 = 138,841億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 1.0%増

\*前年同月比: 1.9%減

#### <概 況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,841億円で、前月比は1.0%の増加となった。また、前年同月比は1.9%の減少となった。

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	138,727	139,354	138,340	138,099	138,887	137,361	137,406	138,841
前 月 比 (%)	▲ 0.3	0.5	▲ 0.7	▲ 0.2	0.6	▲ 1.1	0.0	1.0
前年同月比 (%)	0.2	0.1	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 1.9

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

12月 = 1.925%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.027ポイント減

\*前年同月差: 0.173ポイント減

#### <概 況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.925%で、前月から0.027ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.173ポイントのマイナスとなった。

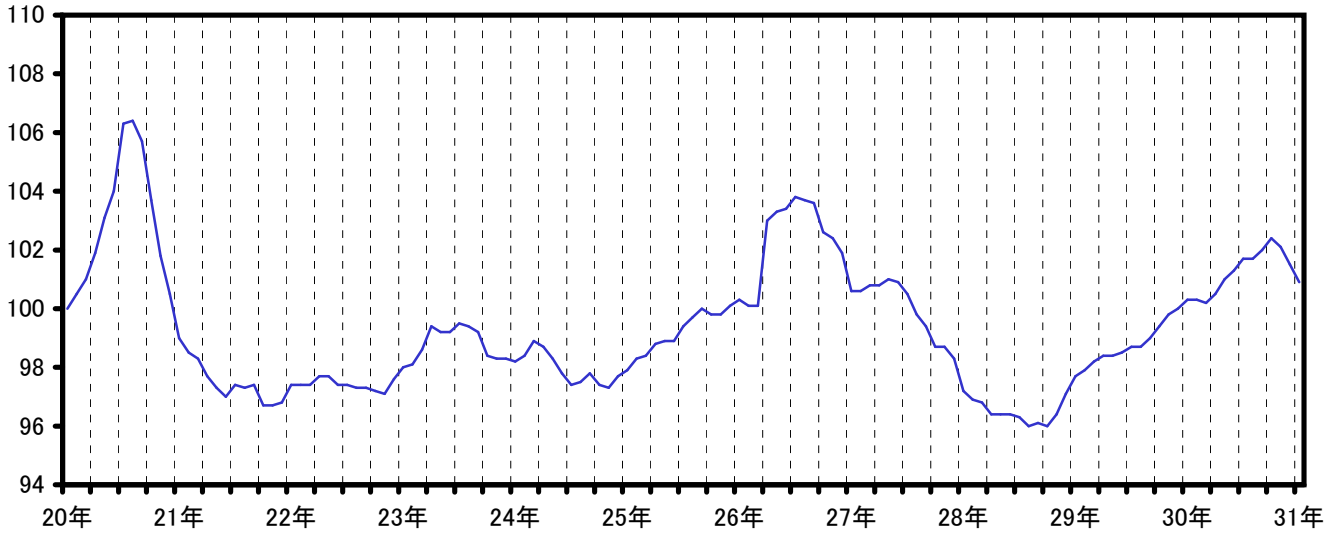
	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出約定金利(%)	2.048	2.022	2.018	1.999	1.977	1.970	1.952	1.925
前月差(ポイント)	▲ 0.022	▲ 0.026	▲ 0.004	▲ 0.019	▲ 0.022	▲ 0.007	▲ 0.018	▲ 0.027
前年同月差(ポイント)	▲ 0.083	▲ 0.101	▲ 0.102	▲ 0.123	▲ 0.134	▲ 0.153	▲ 0.165	▲ 0.173

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

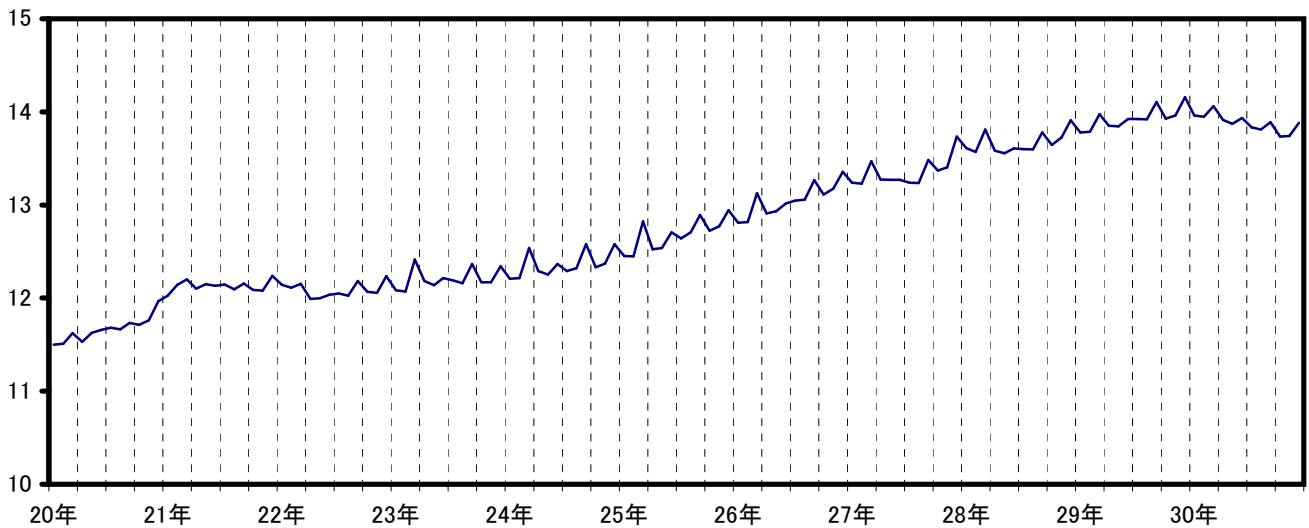
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



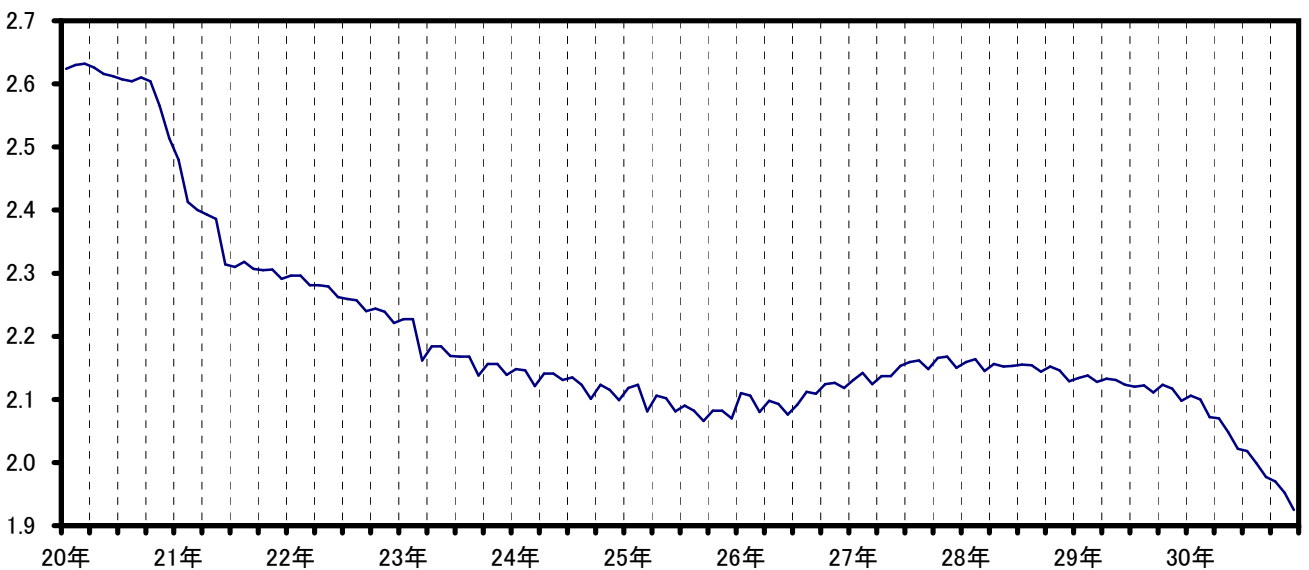
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****12月 = 19,565百万円**

\*前年同月比： 16.3%減

## &lt;概況&gt;

12月の保証承諾は、金額は19,565百万円（前年同月比 16.3%減）、件数は1,889件（同 18.5%減）と、いずれも2か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	17,993	18,336	19,024	19,715	18,648	16,121	17,768	19,565
前年同月比（%）	27.2	▲ 4.9	9.3	8.7	▲ 3.5	1.5	▲ 12.0	▲ 16.3
保証件数（件）	1,786	1,958	1,920	1,989	1,859	1,692	1,744	1,889
前年同月比（%）	11.1	▲ 1.4	10.5	2.9	▲ 7.5	3.5	▲ 9.6	▲ 18.5

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****1月 = 108.95円/ドル**

\*前月差： 3.50円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 1.82円高

## &lt;概況&gt;

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は108.95円で、前月と比べて3.50円の円高となり、2か月連続の円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
平均相場（円）	110.03	111.37	111.06	111.89	112.78	113.37	112.45	108.95
前月差（円）	0.34	1.34	▲ 0.31	0.83	0.89	0.59	▲ 0.92	▲ 3.50
前年同月差（円）	▲ 0.88	▲ 1.07	1.15	1.21	▲ 0.18	0.45	▲ 0.52	▲ 1.82

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****1月 = 15件**

\*前年同月比： 16.6%減

## &lt;概況&gt;

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は15件（前年同月比 16.6%減）、負債総額は1,235百万円（同 47.8%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の100.0%を占め、254か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

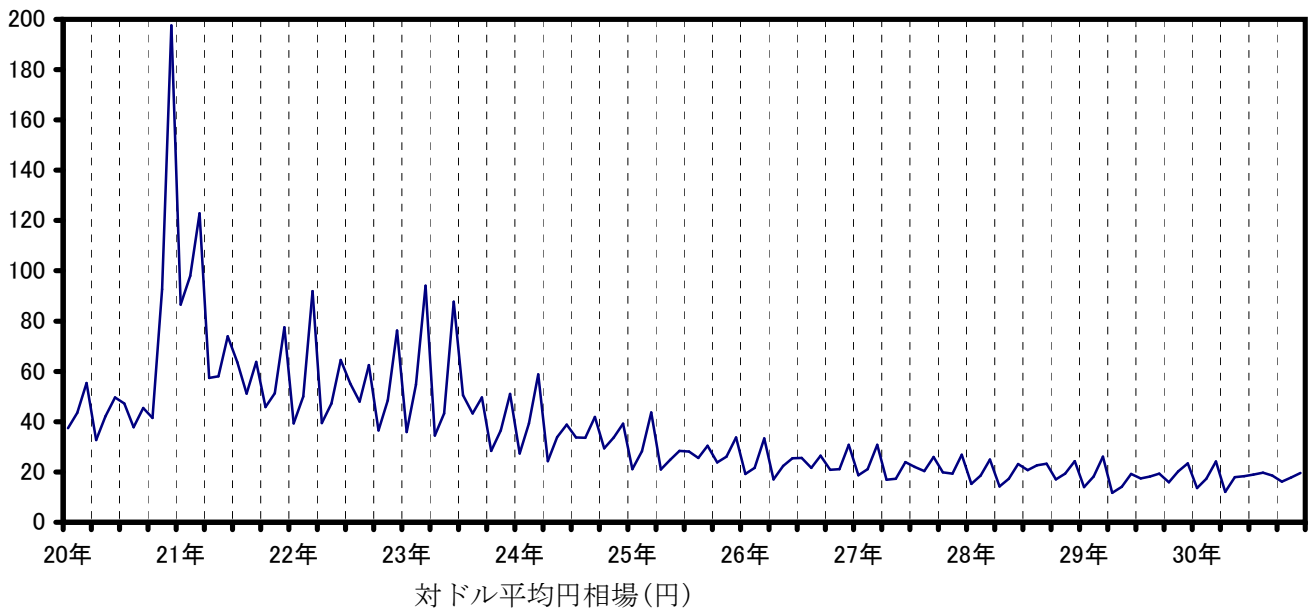
	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
倒産件数（件）	27	16	22	10	20	17	17	15
前年同月比（%）	17.3	▲ 40.7	4.7	▲ 56.5	▲ 13.0	▲ 19.0	13.3	▲ 16.6
うち不況型倒産件数(件)	22	15	20	9	15	15	17	15
負債総額（百万円）	5,345	2,099	2,327	662	3,587	2,238	2,489	1,235
前年同月比（%）	81.8	▲ 33.5	38.5	▲ 57.5	1.2	▲ 73.3	98.3	▲ 47.8

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

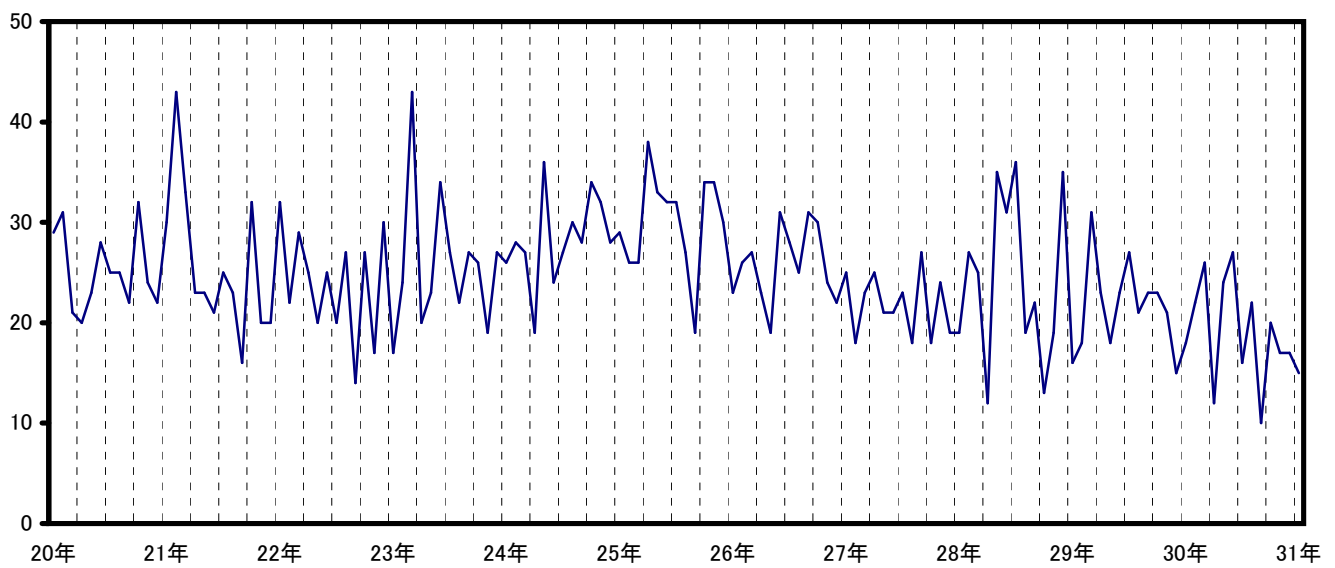


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成30年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、59,940台（前年同月比 4.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、12,892台（同 34.2%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,708台（同 36.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,580台（同 40.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、39,760台（同 2.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,884台（同 19.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、40,835台（同 5.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>11月の自動車国内生産台数は、886,966台（前年同月比 4.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。輸出は430,553台（同 1.8%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月連続、トラックが3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は374億円（前年同月比 17.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は310千台（同 6.4%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは627千台（同 10.9%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。業務用は63千台（同 1.4%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>11月の携帯電話の国内出荷台数は、1,600千台（同 12.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,120千台（同 23.6%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は70.0%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,355億2,200万円（前年同月比 18.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は783億7,000万円（同 23.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが303億3,400万円（同 42.7%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。内需は571億5,200万円（同 9.8%減）と、23か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「歯車関係の輸出が、米国の経済状況により左右される危険性がある」という声や「大口ロット、大型設備の受注が増加傾向にある」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億9,166万円（前年同月比 2.4%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが26億3,263万円（同 11.7%増）、国内向けが24億5,904万円（同 6.1%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,825台（同 1.1%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,859台（同 1.1%減）、グランドピアノが966台（同 1.0%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが1,982台（同 5.4%増）、国内向けが1,153台（同 10.2%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、2,107千ト（前年同月比 0.7%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,129千ト（同 0.7%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。板紙は978千ト（同 0.7%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、631千ト（同 2.2%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、159千ト（同 1.6%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った<sup>※1</sup>。</p> <p><sup>※1</sup>先月は「2か月ぶりに下回った（速報値）」と発表したのが、「2か月連続で上回った（確報値）」に訂正された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け949千箱（前年同月比 6.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は663千箱（同 7.0%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は477千箱（同 5.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は286千箱（同 4.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,135千箱（同 11.3%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、1,639千㎡（前年同月比 3.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,562千㎡（同 1.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、77千㎡（同 54.9%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、31千㎡（同 6.4%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、58億7,741万円（前年同月比 2.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、737億5,208万円（同 3.8%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>



業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店・スーパーの販売額は、43,100百万円（既存店前年同月比0.6%増）と、前年実績を上回った。品目別に見ると、「衣料品」、「家庭用品」、「その他の商品」、「食堂・喫茶」の販売額は前年実績を下回ったものの、「身の回り品」、「飲食料品」は上回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、クリスマス商戦は好調だったが、豊作のため野菜の相場が安いことや鮮魚の販売が不振であること等から売上げが伸びなかった。東部の専門店への聞き取りでは、暖冬の影響で衣料品の販売が振るわず、全体としての売上げは減少していた。また、中部の百貨店への聞き取りでは、暖冬の影響による衣料品の販売の不調に加え、近隣の店舗で食料品売り場がリニューアルした影響等もあり、売上げは減少していた。</p> <p>12月には、焼津市の商店街で、商店街の一部を歩行者天国にして子供の遊び場を提供するイベントが開催された。道路約15メートルにわたり人工芝が敷き詰められたほか、コタツや多彩な遊具も用意され、多くの親子連れが訪れた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約28万人と、前年同月比12.5%増だった。</p> <p>11月に日本平夢テラスが開館したことで、周辺の観光施設では来館者数が増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約73万台と、前年同月に比べて0.7%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	16,231	14,242	15,413	12,784	10,823	21,457	29,265	26,209	24,560
前年同月比(%)	▲ 25.2	▲ 26.9	▲ 10.9	▲ 14.7	▲ 32.8	44.1	72.9	56.1	79.2
KD輸出額(百万円)	752	574	570	589	624	709	779	743	754
前年同月比(%)	10.6	▲ 9.7	▲ 20.1	▲ 23.7	8.5	43.0	29.3	22.5	42.0

### <楽 器>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,111	2,565	3,178	3,187	2,767	2,768	3,478	3,348	2,952
前年同月比(%)	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 14.8	▲ 5.0	▲ 5.7	▲ 10.1	5.3	0.4	▲ 10.5

### <缶詰>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	946	960	963	996	966	943	1,043	1,034	949
前年同月比(%)	▲ 2.0	8.1	▲ 3.6	3.1	▲ 0.9	▲ 2.2	7.9	4.2	6.1
うち水産缶詰(%)	▲ 5.8	0.1	▲ 5.0	5.7	6.8	▲ 0.6	6.4	2.5	7.0
農畜産缶詰(%)	7.1	31.1	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 16.4	▲ 6.3	11.3	8.5	4.2
飲料缶生産高(千ケース)	6,871	8,024	7,394	7,139	7,407	6,774	6,884	7,005	6,135
前年同月比(%)	▲ 15.7	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 14.8	▲ 3.2	7.6	15.8	10.4	11.3

### <織 維>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	1,274	1,176	1,177	1,137	1,149	1,344	1,495	1,718	1,639
前年同月比(%)	▲ 4.8	0.5	3.5	1.5	3.5	▲ 4.7	0.1	2.4	3.1
小幅織物(千㎡)	31	30	28	27	24	27	29	31	31
前年同月比(%)	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 4.6	▲ 0.1	▲ 4.3	▲ 12.9	▲ 8.7	▲ 5.4	▲ 6.4

### <観 光>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観光施設(10施設)入込 (千人)	515	536	302	287	531	354	372	393	283
前年同月比(%)	1.5	▲ 15.9	▲ 17.5	▲ 14.2	▲ 5.7	▲ 9.5	12.6	5.2	12.5
有料道路(5路線)通行量 (千台)	699	719	656	752	890	675	724	738	730
前年同月比(%)	▲ 0.1	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 2.9	0.8	▲ 4.1	8.1	0.4	0.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
平成31年2月号 通巻514号

発行 静岡県経済産業部  
平成31年2月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>